

高校美術 3 (116-日文・美Ⅲ-302)

1 学習指導要領との関連

主要な観点	編集上の特色	該当ページ
学習指導要領全般	●学習指導要領に示された「芸術科」の目標及び内容を踏まえ、「生涯にわたり芸術を愛好する心情」を育て、「芸術文化についての理解を深める」ことができるように、幅広い視点から題材を設定した。	●教科書全般
「美術Ⅲ」の目標との関連	●学習指導要領「美術Ⅲ」の目標及び内容を踏まえ、「感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める」ことができるように、適切に題材を選択し、配列した。 ●題材設定については、「美術Ⅰ」「美術Ⅱ」の幅広い美的体験の上に立ち、高校生の造形的な発達に応じた取り扱いができるように配慮した。	●教科書全般
表現及び鑑賞の活動の取り扱い	●表現題材では「美術Ⅰ」「美術Ⅱ」での学習を基礎にして、「独創的な主題を生成し」「個性を生かして創造的な表現を追求する」手がかりとなるように内容を精選した。 ●鑑賞題材では、仕事の内容や作品と「社会とのかかわりなどを考察」したり、「文化遺産等を継承し保存することの意義」を理解したりできるように配慮した。	●教科書全般

2 内容の適切度

主要な観点	編集上の特色	該当ページ
編集意図の新鮮さ・明確さ	●美術にかかわる職業とその職業に現在携わっている内外20名の人物を取り上げ、高校生が美術文化への理解を深め、自らの将来についても考えることができるように編集した。	●教科書全般
内容の程度、正確性への配慮	●文章は平易で、わかりやすい表現で丁寧に解説した。 ●掲載作品には説明文を付けて作品の理解に役立つように工夫した。 ●作家名、撮影者名、読みにくい作品名、特殊な美術用語には振り仮名を付け、内容の理解に役立つように配慮した。 ●取り上げた人物や作品については、内容を十分に理解できるように詳しく、正確に、わかりやすく解説した。 ●掲載作品などは、美術の教科書として必要な情報が正しく伝わるように、原作の色味に忠実な印刷を目指した。	●教科書全般
時代への適応性及び環境への視点	●現在活躍中の人物のみを取り上げ、現代の高校生が興味・関心を持てるように配慮した。 ●人間と地球環境の問題をテーマに制作を続けるグラフィックデザイナー、リサイクルできる素材を使う建築家、植物の壁や外装を制作する植物アーティストなどを取り上げ、環境への理解が深まるように配慮した。	●教科書全般 ●12・13, 22～25
人権尊重及び平和教育への視点	●東日本大震災に触発されて作品を制作した画家、コンテナや紙管を使って仮説住宅や避難所を制作した建築家などを取り上げて、生命や平和の大切さへの興味・関心が深まるよう配慮した。	●6・7, 22・23
我が国及び諸外国の美術文化についての視点	●日本の美術作品の修復家、失われてしまった古代の色の再現を試みる染色家、美術史家などを取り上げて、斬新な視点から我が国の美術文化への理解が深まるように工夫した。 ●外国在住で外国人のストーリーに絵をつける絵本画家、植物との共生を図る外国人植物アーティスト、主に西洋絵画の主人公に扮するという制作を続ける美術家などを取り上げ、海外の美術文化について理解を深めることができるように配慮した。	●34～37, 40・41 ●14・15, 24・25, 38・39

3 学習効果への配慮

主要な観点	編集上の特色	該当ページ
基礎・基本の押さえ	●「美術Ⅰ」「美術Ⅱ」の学習を踏まえ、「高美Ⅲ」で必要な基礎的、基本的能力がさらに深まるよう題材を設定した。	●教科書全般
美術への関心・意欲・態度についての配慮	●現在も活躍している人物のみを取り上げ、同時代を共に生きる高校生が親しみを持って学習できるように配慮した。 ●美術家、グラフィックデザイナー、プロダクトデザイナー、ファッションデザイナー、照明デザイナー、植物アーティスト、CMディレクター、アニメーション監督、修復家、染色家、美術史家、ギャラリストなど幅広い職種を取り上げ、高校生が関心を持つことで将来の職業選択の手がかりともなるように配慮した。	●教科書全般
発想や構想の能力への配慮	●スケッチやデッサン、下絵などを載せ、どんな発想や構想で制作しているかという説明と併せて、学習の手がかりとなるように配慮した。	●5,8・9,13～15, 17・18,21～27, 29～33
創造的な技能を高めるための配慮	●作品の制作過程や用具・材料とのかかわりを説明するなどして、高校生が表現を理解する際の手がかりとなるように工夫した。	●6～9,11,13,15,17, 33,39
鑑賞の能力を高めるための配慮	●作品や情景写真を大きく掲載し、作品のよさなどが実感できるように配慮した。 ●作者の写真は、できるだけ制作・作業をしている写真を掲載し、その職業への理解が深まるように工夫した。	●教科書全般
他教科や「美術Ⅰ」「美術Ⅱ」との関連	●「美術Ⅰ」「美術Ⅱ」の学習の上に立ち、表現により独創性を加味できるように題材を精選した。 ●道徳や歴史、家庭科などとの関連も考慮した。	●教科書全般 ●7,12・13,18・19, 34～37,40・41

4 造本・体裁

主要な観点	編集上の特色	該当ページ
印刷	●美術の教科書にふさわしく、作品などのよさが正しく伝わるように、鮮明で、美しい印刷を心がけた。	●教科書全般
製本	●判型をA4変型判とし、製本形式を中綴じにすることによりページが完全に開くなど、細部まで使いやすさを追求した。	●教科書全般
安全性について	●印刷は生徒のアレルギーなどを考慮して植物性のインキを使用するとともに表紙の表面加工にも配慮し、学習に使用するに当たっての安全性に留意した。	●教科書全般
環境への配慮	●用紙は表紙・本文とも再生紙を使用するなど、十分に環境への配慮をした。	●教科書全般